

# 日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ①

## ○ 政府方針等

- 岸田総理大臣施政方針演説（令和4年1月通常国会）  
日本酒、焼酎、泡盛など文化資源のユネスコへの登録を目指すなど、日本の魅力を世界に発信
- 菅総理大臣施政方針演説（令和3年1月通常国会）  
日本酒、焼酎などの文化資源について、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す

## ○ 登録無形文化財登録

「伝統的酒造り」を登録無形文化財に登録（令和3年12月2日）  
（「書道」と並び、登録無形文化財として初めての登録）

### 1 登録要件

- ・ 米などの原料を蒸すこと
- ・ 手作業で伝統的なこうじ菌を用いてバラこうじを製造すること
- ・ 並行複発酵を行っており、水以外の物品を添加しないこと 等

### 2 保持団体

日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会(令和3年4月16日設立)  
会長：小西 新右衛門（こにし しんうえもん）

（蒸きょう）



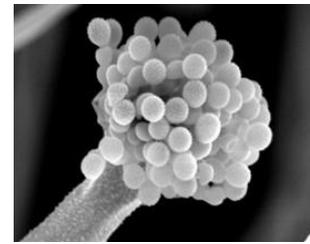
（こうじ造り）



（もろみ管理）



（こうじ菌（国菌））



## ○ ユネスコ無形文化遺産への提案

- 令和5年3月 ユネスコ事務局に提案書を再提出（令和4年3月 当初提出）
- 令和6年6・9月 ユネスコ評価機関会合
- 令和6年11月 ユネスコ評価機関による評価結果公表
- 令和6年12月2～7日 政府間委員会において審議・決定見込み（パラグアイ）

# 日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ②

➤ ユネスコ無形文化遺産登録に向け、文化庁・保存会等と連携し、各種機運醸成事業を実施

## ○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(国内)

➤ 酒造りの担い手や有識者を交え全国で順次開催

開催年月日	会場	内容
令和4年2月26日	国立科学博物館(東京)	こうじ菌文化に焦点
3月26日	京都国立博物館	日本酒に焦点
5月28日	沖縄県立博物館・美術館	泡盛に焦点
6月11日	福岡国際会議場	本格焼酎に焦点
11月5日	名古屋グレストンホテル	みりんに焦点
令和5年3月5日	江陽グランドホテル(仙台)	東北の酒造りに焦点
3月23日 24日	札幌駅前地下歩行空間	北海道の酒造りに焦点
10月8日	しいのき迎賓館(金沢)	石川の酒造りに焦点
令和6年2月24日	池田総合体育館(徳島)	四国の酒造りに焦点



(パネルディスカッションの様様)



(酒造り唄の披露)

## ○ ALT(小中学校等の外国語指導助手)等を通じた広報

- 日本に滞在中のALT等の在留外国人向け酒蔵見学ツアーを開催
- 令和5年11月～令和6年3月に、北海道から沖縄までの36道府県で開催
- 体験談は本人SNSを通じ母国へ情報発信のほか、自治体国際化協会の機関誌に体験記を掲載



## ○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(海外)

- 令和5年2月2日 パリ日本文化会館  
ユネスコ各国大使や仏の酒類関係者等を招待し開催。現地の清酒製造者や仏人講師等を交え、ワインと比較しながら、日本の酒造りを訴求



- 令和5年5月23日 在フランクフルト日本国総領事 公邸  
行政、メディア関係者等を対象としたセミナー及びレセプションを開催。日本料理や西欧フュージョン料理とのペアリング体験を実施



- 令和5年9月25日 ジャパンハウス・ロンドン  
伝統産業(日本酒・ワイン)に携わる日英の女性醸造家による対談(トークセッション)を実施



- 令和5年11月15日～20日 在スペイン日本国大使公邸 等  
行政やメディア関係者を対象とし、日本食普及親善大使や利き酒師によるセミナー等を実施



- 令和6年3月7日～11日 ローマ文化会館 等  
メディアや料飲業者等を対象とし、伊人酒サムライや日本の酒蔵によるセミナー及びパネルディスカッション等を実施

